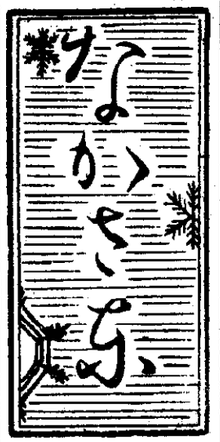

毎月 一回 15日
定価 1部 5円
発行所
中里村公民館

現在人口	男	4,305
	女	4,437
	計	8,742
	世帯数	1,691

年頭のご挨拶

中里村長 高橋幸作

明けましておめでとうございます。希望の新年をむかえて村民の皆様の御幸福と中里村の繁栄を心から祈念し、謹んで年頭の御挨拶を申しあげます。

不肖私、昨秋はおもいがけず健康をそこね、少なからずご心配をおかけしてしまいましたがおかげさまにて恢復もはかどり皆様の御厚情に深く感謝いたしております。ただいまは一日も早く健康をとりもどし、中里村発展のため微力ながら誠心誠意尽したい所存であります。

さて、わが中里村も発足以来十年になりましたが、この間、村民一致、和合協力のもとに新村建設をめざしきわめて着実に村行政が推進され、産業、教育、福祉と各方面にわたり発展向上しつつありますことは村民の皆様とともに喜んでおります。

しかしながら近年社会情勢の移り変りは激しく、さまざまの改新とともに社会問題もまた複雑多岐となり、なかんずく産業界のめざましい発展の渦中にあって農業の立遅れは測りしれなく、わが中里村におきましてもいわゆる所得格差が顕著にあらわれてきております。さらに村の人口動態の面でも全国的な傾向とは申せ、青少年層の都市工業地帯への移動が目立ち、兼業化や三ちゃん農業がふえ、本村産業の主軸をなす農業の近代化はまさに重要な課題として迫ってきております。なおまた、社会の進展に即応して教育の充実、公共福祉の改善も当面の課題であることは申すまでもありません。ここに激しい現実社会の変遷と新時代に対処する新たな村づくり構想の必要を痛切に感じるのであります。

これがためには村行政全般にわたりキメこまかな施策が必要なことはもちろんでありますが、村の置かれている諸条件を分析検討して綿密な計画のもと重点的に構造づけて、長期にわたり推進されなければ実現が困難であり、村民各位の深いご理解と一層の御協力をいただきたいのであります。

さいわい昨年は村内にはこれといった災害もなく、農業、商工業の面においても順調な伸長をみることができ吉祥様とともに安堵して越年できました。村としましても年度はじめ計画した諸事業及び懸案諸問題につきましてはほぼ完了、あるいは実現に大きく近づく段階にまで推進することができました。すでに公民館報等を通じて報告しましたように、一般経常費的支出も年々かさみ、村財政健全化のためまえから村営の建設投資的事業は必ずしも充分御期待にそえ得なかったのでありますが、児童館建設、清津峡小特別教室増築教員住宅三棟新築、貝野地域に於いて林道開設事業二ヵ所、倉俣地域において村道改良事業二ヵ所等を実施することができました。なお児童館建設と併せ郷土御出身の石沢善重郎氏から立派な保育園を寄贈していただきましたことは、村民の皆様とともに深く感謝申し上げたいと存じます。国県事業としましては、十二線開ざく工事、蒲川橋架替工事、芋川畳中隧道、田沢駅通り道路ほか県道改良工事二カ所、国道舗装工事など着々と進捗いたしておりますことは同慶にたえません。

今年は中里村発足十年をむかえ飛躍的発展を期すべく全力を傾注していきたい所存でございますが、山積する諸問題の中、段丘地開発（清津川右岸段丘地総合開拓パイロット事業）は実施計画のため国の調査費をとりつけたい。全線開通が待望されている十二線工事は一層強力に促進を図るとともに柏崎―湯沢線国道格上げ運動を関係市町村と結束して積極的に展開したい。また国県道の改良事業については駅通り及び山崎―清津橋間の舗装工事、清津峡方面、貝野方面の県道改良工事を促進し、また懸案となっている宮中橋の新設については、四十一年度着工を目途に国の調査費をとりつけるべく力を入れたい。住民福祉、保健衛生の面で田沢地区簡易水道敷設、国保療養給付の改善（全員七割給付）を実現し、教育施設整備については辺地教育の後進性を解消するため清津峡小学校改築等を計画したい。以上今年度、村政の重点と思考する一端にふれましたが、財源とにらみ合わせ効率的に運営していきたいと存じます。なにを成し遂げるにも村民各位の御協力が得られなければ容易でなく、一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げる次第でございます。

年頭にあたり一言ご挨拶を申し述べ、村民の皆様にとりまして希望の多い年でありますようところからお祈り申し上げます。

夜明けと共に

中里村公民館長 齋藤大馨

明けまして
おめでとうございます

国中に満ち満ちているこの慶びの声、何か晴れがましい気持、はしゃいでいる子供達、一杯機嫌で歌の一つも出ようというもの。毎年のことながらお正月とはどうしてこうも素直に楽しめるのでありましょうか。

門松が一年中の邪気を払い、永遠に栄えることを祈り、梅は繁栄の意味であり、しめなわは邪を防ぎ、汚をきくるもの、おとそも同様、餅は長生きして、しかも一家団欒をはかるものであるといいます。お正月の行事や飾りつけをこうして記して見ますと、どれも永遠なる願いの祈りをこめて居ります。お正月は別の名を「睦月」といいますが、これはみんなと仲よくする月という意味だときれておりますので、みんなで仲よく永遠に続く幸いを祈るのがお正月だということにもなりそうです。いってみればこうした所にお正月の慶びの声の源があるとも考えられましょう。

この祈りは誓いとなって現れるのが普通のようであります。よく「一年の計は元旦にあり」なやといいますが、多くの人々が今年一年の計画を立てたり、去年出来なかったことをきっとやり遂げようと決心したり致します。

日記とか家計簿とかは、たいていお正月から一、二ヵ月たつと規則的でなくなり、毎年書きかけたものが残ったりする人がありますけれど、それでもお正月に今年こそと思うことは、素直な気持としてやはり大切にすべきではありますまいか。

立派な思想家に「人は誓ってはならない」といった人がありますが、それはおそらく誓うことがむなしいものであると痛感したからのことでありましょう。けれど発心とか決心とか願いとかの宗教的な人の心の自然に根ざした心根は、どうしても誓いという気持をなくすことが出来ないようであります。

よしんばそれらのものでありましても、一つの誓いが駄目になれば又一つの誓いと次々に行ってまいりますことは、まして私達凡人としては常々のこととすべきだといえますまいか。

いってみれば人間を信頼しようとする気持、これが誓いというものだとも考えられます。自分も他人もこの世の中のさまざまな出来事を通しどんなにうらぎり傷つけあっていることかわかりませんが、この傷つけ合う姿を影とすれば、必ずやさんさんと照る光の面があるはずであります。この光の面を生きてゆく姿に掲げますことは、なんといっても人生への健康な態度だといえましょう。

「誓ってはならない」とか、この世は狐と狸の化し合いだとか「われもひとも憎みがたきものだ」とかは、人生の影ばかりを見ているからの言葉であると思われます。この影もまた本当に人々の姿でしょうけれど、それはお正月のこの陽気な明るい気分には、そぐわないことです。むしろ素直に、去年を悔い今年に期待するありきたりの考え方が命の力になるようであります。私達は愚かですが、誓って願います。それはただみんなが救われるということです。それには自分で務め、天地の力にもお願いしてやみません。よこしまな思いや我侭は限りなく起るのですが、きっとこれを抑えますことを誓う月といってはお間違いでしょうか。

一つの誓いむなしくとも除夜の声と共に、思いを新たにした法浄無垢な昭和四十年のスタートラインに立ちて、皆様と一緒に充実した年にして行きたいものであります。

「多く知って
行なわぬより
少く知って
実行すること」
にしたいもの。

成人の日に想う

公民館副館長
田沢中学校長 石沢藤栄

瑞気宇内に満ち、村勢進展して清新の気溢れる新春、恒例は申せ成人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝いかつ励ます成人の日を迎え、村内百数十名の若者達がこの祝福を享受出来ることは、誠に慶賀の至りである。

新しい酒は新しい皮袋に盛るとか古諺にありますが、この祝福される青年諸君を容れる社会情勢は、果して憂なきか案じに堪えないところである。人づくりは池田首相に端を発し流行語となりましたが、教育こそ人づくりでありその責任を上部から下降させ、遂に家庭教育にまでなければならない。

この原源を求めんとする現況は何を物語るものであろうか。

本年の該当者は、太平洋戦争の最終段階に生をうけた方々であり、遅きは四ヵ月余りで終戦を迎え、その幼児期は親達の最も苦労の多かったところであって、不運極りなしとも思える。

先般小説徳川家康の作者山岡荘八先生の講演を拝聴する機会を得ましたが、研究された新史観から家康こそ平和願望に徹した政治家とし、戦争犠牲者としての論証を述べられたが、このことを諸君に運用すれば、正しい平和国家建設の尖兵であり、誇りを持ち寛容の偉大さを自覚しなければならない。

現下、人口の都会集中弊除と農村近代化は必緊の事業であるが、残念ながらその施策に乏しい。郷土を愛し、祖国を想い、自己の生涯を愛しむ若者よ。顧みて余りにも依存ではなかろうか。一例として適切ではないかも知れないが、清津川総合開発の段丘地問題は、此処に骨を埋める者の責任ではないかと思う。直接農業に従事するかどうかではない。地勢、気候、土質等々様々な悪条件は多かろうが維新の大業を成就せしめた青年の、意気と着実な研究調査に取り組む計画を我がものとする態度を希求したい。新風に盛られた新しい世代を開拓するフロンティアーの精神こそ最も大切であり、成人の日を迎える所感とする。

謹賀新年

中里村民生委員会

民生総務委員
大島孝平
山本芳治
吉桑利治
広田フク
武田ミノル
樋口チヤ
樋口喜蔵
山田定信
山本良平
山田章次
高橋源平
桑原正義
鈴木一郎
藤田正弥
桑原清太郎
吉桑重利
村山利功
斉藤大馨

なかさと文芸

〈一月投句〉

池田露丘

織り初めの雪の小路の両隣り
元朝の霊峰苗場目にまぶし
ひたすらに子等への愚去年今年
小山大泉

それぞれの心を持ちて初詣
朔旦の掌に温し今朝の冬
寺鎮む孫も老婆も着ぶくれて
村山えつお

小さき掌の形を飽いぬ門の雪
赤き縁とりて薬缶を覆きそめぬ
雪道をゆすり合いつゝ年賀の辞
田村梢陽

着ぶくれて離に老のせき一つ
初春やはばたく如し群すすめ

吉祥の巻浦風愚ぶ初鏡
今朝の春浮世のちりを洗う雪
村山芒月

初日の出鴨立ち上る黄金波
初日待つ暁の飛石鏡かな
石沢天光子

お飾りの氷柱は玉彩を放ちおり
おろがみて帰る眠下の初街灯
武田一声

独り居に古都遠く聞く除夜の鐘
上原紫紅

山畑に寒山子一つや歳の春
おしなべて忙しげなる日山茶花
樋口土年

盛る
新蕎の香りあたたかゝ飾り
出稼ぎの夫初便り朧霧そえる

井之川桂仙

学校・公民館

田沢小学校長 伊藤義男
倉俣小学校長 祝田義正
高道山小学校長 田中富士松
貝野小学校長 村山正衛
清津峡小学校長 吉田大吉
田沢中学校長 石沢藤栄
倉俣中学校長 高橋英男
貝野中学校長 今成洸汪
十高田沢分校主任 関口義平
公民館長 斉藤大馨
公民館運営審議委員
村山正衛
根津正平
高橋敏子
富井博
高橋熊蔵
藤田宇一
桑原秀雄

年頭の辞

中里村議会議長 斉喜政治

明けましておめでとうございます。謹んで新春を寿ぐとともに、旧年中の格別なる御支援御協力に対し、心から感謝の意を表します。尚、本年は一層の御指導とお力添えを賜わりますよう切にお願い申し上げます。

過ぐる昭和三十九年は東京オリンピック、新潟国体など真に華やかな祭典の年であり、その成果も又大きなものがあったと思います。しかしながら反面六月十六日突如起った新潟地震及び北海道全域にわたる冷害等、多くの我々の同胞が自然の脅威に悩まされ莫大な損害を蒙ったことはまことに遺憾の極みであって、これ等地域の皆様が一日も早く、完全に立直るよう心からお祈りして止まない次第です。

我が中里村はさしたる災害もなく、一般農作物も概ね良好な成績をおさめ、継続実施中の十二線開発工事をはじめ、谷川橋の架替工事着工、灌漑川右岸段丘地の開発準備計画、農林道の整備、児童館保育園の殿堂等着着実施いたして参りましたことは御同慶に堪えません。

本年はさらに各般にわたって充実強化を計らなければならない幾多の問題が累積いたして居ります。何卒村当局を始め村民一体となって綿密な計画のもと勇断に着々順次実施にうつして行かなければなりません。この時に当ってたまたま昨秋九月、高橋村長が突然軽い高血圧症のため入院加療の止むなきに至ったことは、まことに遺憾に堪えません。しかしながら幸い経過もすこぶる良好で、去る十一月二十六日退院、その後温泉療養を続けておりますが、近日復帰出来ることと存じます。何卒完全快復の日の一日も早からんことを切に祈って止みません。

末筆ながら村民御一同様益々御健勝で中里村発展のため、和衷協力大いに御健斗あらんことと御多幸ならんことをお祈り申しあげ年頭の辞といたします。

新年と言葉の魔術

教育委員長 藤田五郎

新年明けましてお目出度うございます。年々歳々繰返えす言葉ながら何となく清新な気分に浸らせる言葉であります。元日は悠土の旅の一里塚、目出度くもあり、目出度くもなし、という狂歌を連想しますと実に味気なく、聊か賀詞の連禁じ他はきるものがありますが、一方、一年の計は元旦にありと言うと誠に悠気颯爽たるものがあり、計り知れぬ洋々たる渺さえも思わせる言葉に変ります。これは言霊に潜む魔術であります。

終戦直後酷く言葉の魔術にかかったものでした。例えば教育の殿堂である学校において、自由主義という言葉の魔術によって、生徒が授業中に勝手に教室から飛び出しても、これを放任している先生があったり、民主主義という言葉の魔術により暴力の現行犯を見て見ぬふりをする役官があったり、封建主義は終ったのだという言葉の魔術にかかった家庭では、子女の放縦を放任し、規律も権威も全く喪失されようとしたことさえありました。当時、実に旋風した魔術的な言葉に反動というのがありました。戦時中の慢性的反動が、民主主義を軸として急角度に左に旋回すると、古いものは何んでも反動に見えて、民主々義そのものの実態にすら反動のレッテルを張られそうになったものでした。実に言葉の魔術は偉大であるといわざるを得ません。先般、佐藤総理大臣は就任の際の記者会見にあたり、ビジョン（未来像）を持たねばならぬと言われました。この言葉は我々が日常用いている言葉でありながら、一国の総理から直接聞くこの言葉はいかにも一国の総理の言葉を示すに相応しい魔術的な一語として響くのであります。総理のいわれるとおり未来像を描きつつ日常の業務に専念することにより進歩もあり、発展もあり、向上もあり夢も持てるのであります。悠土の旅の一里塚などという不吉な言葉の魔術から逃れ、未来像を胸に描きつつ常に新鮮な感覚で、お互に与えられた職域に精進すべきであると思います。

さて、わが中里村における教育行政は、例年のこと乍ら昨年も誠に多事多難の年でありました。本年もなお多事多難を忍わせる幾多の問題が控えています。願わくば村民の皆様の御支援と御協力をいただき、失策なき教育行政を推進したい所存であります。ケーテ曰く「予は単と同様に失策を憎む、わけても政治的失策は特に然り、蓋し幾多の人民を不幸惨害に陥れしむればなり」心すべき言葉といわねばなりません。伝統ある教育村中里の発展を心より祈念しつつ年頭の辞と致します。

北海道冷害義捐金品

ありがとうございました

日本赤十字中里分区

北海道全域にわたる冷害のことにつきましては、既に新聞ラジオ テレビなどによりご承知のことと存じますが その被害は殊のほか大きく道内農家の七十%が被害を受け、そのうち三十%が五分作以下というきわめてみじめな状態であります。

この冷害農家を救おうと、村内各所から当分区に続々と義捐金が寄せられ、去る十二月二十六日、北海道へ発送しました。その内容は次のとおりですが、皆様の篤志に深く感謝申し上げます。

田沢中学校生徒会 与来一依

中里村婦人会 現金二万八千円
貝野小学校現金四千三百四十円
衣類、学用品等
カトレヤクラブ現金二千円
名簿 現金一千円

これらの金品に合わせ、当分区より現金一万円を送りました。

謹賀新年

中里村議会

議長 斉藤政治
副議長 村山軍行
議員 服部正義
服部武男
鳥田藤平
関沢哉太郎
桑原寛平
富井博
上村賢造
岡村弘美
桑原武義
上原有之
藤田守一
羽鳥隆吉
鈴木寛一
上原国一
南雲吉之助
鈴木佐十郎
江口平五郎
古高仁松
樋口竜次
中島迪治

中里村役場

村長 高橋幸作
収入役 広田富左エ門

中里村農業委員会

会長 高橋幸作
副会長 高橋熊蔵
〃 羽鳥隆吉
委員 大島貞三
村山信一
村山半平
広岡繁吉
上原喜作
山田弥吉
南雲茂作
桑原清
羽鳥与五郎
南雲正雄
藤田政清
南雲宗治
吉桑実太郎
吉桑富徳
井ノ川友春
富井今朝芳
富井和三郎
鈴木寛一
南雲長寿

中里村教育委員会

委員長 藤田五郎
委員 鈴木謙吉
樋口与三郎
岡部一郎
村山軍英

教育長 井ノ川三平

中里村選挙管理委員会

委員長 滝沢謙治
委員 保坂勇二
保坂善七
徳井善七
井ノ川三平

力あわせて 住みよい村に

――新春座談会――

公民館では新春座談会ということで、青年婦人成人各層からお集りいただきたんないご意見をきかせてもらいました。以下そのあらましですが、社会の進歩発展に後れることなく住みよい郷土をつくるためにおとなも若い人たちももっと相互に理解と協力が必要であり、そして家庭でも、部落や地域や団体の中でも"話しあい"をだいじにし、その活動をさかんにしていきたいとおもいました。

× × ×

司会 座談会といっても別にテーマをきめていませんので、気楽におねがいします。皮やぶりに若手の立場からどうぞ。

A とかくいまの若い者は云云といわれますが、私たちだって農業のことや将来の生活を考えないわけではない。しかし家庭ではすぐ目の前のくらしがどうのこうという話になってしまう。若い中はやはり友達もほしい。したいこともいっぱいある。おやじ層はもっと知恵力をもってほしいとおもいます。

司会 おとなの側からはどうですか。

B 農村も大きく変ってきた。年をとった者は今日の生活と昔をくらべて向上したと考えるが、若い人たちはおとなの経験してきたことを理解できない面がある。社会の変化や進歩のうけとり方が違う。それが若い者の生活にもあらわれている。

A いまの青年がだれでもかれでも消極的だとしたらブレーキをかけてください。しかし生産的な面でも、もっと若い者の希望や意見を理解してほしいですね。

B 現代は新旧思想のちがいがありすぎて複雑だ。それが子どものしつけの上にも、部落や団体のまとまりの上にもあらわれて実にむずかしい。

C 私もおやじの側だが、けっきょく年をとった者と若手の間に入りがあっては家の中も社会もうまくいきませんね。

A 私たち若い者もいまのおやじ層の人たちが、新旧時代のはげしい移り変りの中でむずかしい立場にあることはわかります。

司会 主婦の立場からご意見は。

D 主婦とか母親はどっちかというと年寄よりも子供の側につきがちではないでしょうか。

C 母親だけでなく、だれもが若い者を期待しているつもりなんだが、ひょっこり古いモノが顔を出すんです。

B とにかく世の中の変化ははげしいが、年寄は農業倹約をして子孫に美田を残したいという気持が強い。だから社会の変化についていけない面がある。

司会 いまの青年たちの生き方もいいが、古来からの青年の生き方ということについては。

C 近頃"根性"をもてというようなことがいわれていますが、たいじなことだとおもいます。農業青年もガッチリ根性をもって、近代化にとりくんでいく人たちがほしいですね。

D 私たちの娘時代は農家へ嫁ぐことをそれほどいやだとはおもわなかったですが、いまの人たちはどうですか。

A いちがいに労働が過重で住みよい村をつくりたいとおもいます。どうもありがとうございました。

【写真は座談会のようす】

× × ×

出席者（順不同）

高橋 熊蔵（倉 俣）農 業
竹藤 嘉寛（宇 川）公務員
鈴木 園子（田羽毛）農 業
樋口 ヒサ（通り山）主 婦
井ノ川宗治（小 沢）農 業

司会 公民館長 斎藤大蔵

年頭所感

紙上年賀状

中里村消防団長 鈴木国一郎

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。中里村では二ヵ年間無火災であります。偏に御同僚諸氏の深く感謝し、本年もよろしく御願い申し上げます。

津南地区農業改良普及所長 清水文平

中里村農業にとって画期的な新年です。それは段丘地開発への階段をのぼる年だからです。この大きな礎石も"人"がやるのです。皆さんの御努力を期待してやみません。

保護司 高橋源平

青少年の犯罪乃至は非行の増加と悪質化の傾向は、若い世代を憂む姿うべき現象である。犯罪のない明るい社会を築くため、皆様からあたたかい愛の手をさしのべていただきたい。

中里村体育協会副会長 藤田博

新年お芽出度う御座居ます。今年もスポーツを愛好し、それにより心身を錬磨し、強く、正しく、明るい人間"になるべくおおいにハッスルいたしましょう。

中里村民生委員 大島孝平

1 働くことはほんとうによいことだ。しかし自分の枠の外が見えなくならないように。
2 心の故里を訪ねよ。そして落着いた社会に生きたい。
3 奉仕は盛栄の商店ばかりに独占させないで、社会のヒズミに苦く人々に同情を寄せたい。

賀正

中里村教育長 村山英

新年を迎え、まず第一に考えることは、今年もまた学校等に火災や事故のないよう祈念するとともに、児童、生徒が楽しく勉強できるよう学校施設や環境の整備に全力をつくしたい。明るく楽しい社会をつくるために社会教育の振興をはかりたい。

村議会社会厚生委員長 服部武男

中広い社会福祉事業にさらに奥行きを深め、地域住民の皆様が期待している厚生事業を強力に押し進めて、皆様と共々に健康で明朗な村づくりに邁進したいと思います。ご指導とご鞭達をお願いいたします。

清津峡地区PTA会長 樋口発蔵

山さびのそしりありとも若緑
咲きそいてこそよき郷でかし
自然を愛で、自然に育くまれ、
そして麗しき人づくりに前進を
……

黎明の鐘が鳴るなり暁の
空にさやけし雪晴れの峰
毅然としてたて、そして勇敢に
村づくりにハッスルせよ。

村議会総務文教委員長 藤田守一

賀春、昨年中の御支援を感謝申し上げます。本年は村内外非に多事多難と存じますが、何とぞ村民の皆さまのご協力とご指導をお願い申し上げ、生々発展を祈り、新年の辞を申し上げます。

中里村選挙管理委員会委員長 滝沢謙治

新春を迎え各位の御多幸を祈り申し上げます。公明選挙推進を有権者皆さんの自覚とご協力によって、地道に一歩一歩着実にその歩みを進めてゆきたいとおもっています。